

団体名	愛知大学 学生パートナー
説明文	<p>・事業内容</p> <p>私たちは、月に一度のペースで愛知大学の外周の清掃活動を 20～30 分程度の時間で行いました。さらに 2～3 か月に一度、学生パートナーの清掃担当者とミーティングを開き、意見交換や意識の共有を図りました。</p> <p>5 月には一枚目の写真がその風景となりますが、豊橋まちなか会議の方に清掃活動のノウハウやアドバイスなど貴重な情報をいただき、活動方針を立てるのに活用しました。</p> <p>12 月には二枚目の写真がその風景となりますが、FM 豊橋のキラピカ☆530 タイムズ様に私たちの活動を紹介していただき、多くの方に情報発信をすることができました。</p> <p>同じく12月には三枚目の写真で着ている私たちがデザインを考えたビブスが届き、活動の結束力が強まるのと同時に、一目で私たちが活動をしているということがわかるようになりました。</p> <p>・成果</p> <p>毎回の清掃活動でゴミ袋 5 つ程度がいっぱいになるほどゴミを拾うことができました。ゴミを多く拾えたという達成感とともに、定期的に清掃を行っていても絶えずポイ捨て等が行われていてゴミが消えないという残念な気持ちにもなりました。</p> <p>ゴミの内訳としては、吸い殻や菓子類の外袋が目立ちました。そのほかにも空き缶やペットボトルなど多岐にわたりました。</p> <p>道端に落ちているゴミから、植え込みの奥にまで入っているゴミ、歩道橋下のフェンスの奥に放り込まれたゴミまで様々なところにゴミはありました。</p> <p>清掃活動の参加者については、学生パートナー以外の学生も参加してくださり、今よりも多くの人と共に活動していきたいという思いにつながりました。しかし、参加してくれた学生は、メンバーの友人がほとんどだったため、より多くの人に私たちの活動を広めると共に参加を募りたいという今後の課題を見つけることができました。</p> <p>・今後の見通し</p> <p>新型コロナウイルスの影響で大学から活動指針が出ており、活動が行えない状態にあるため、SNS を使いこれまでの私たちの活動を広めることを行ってきました。そして、活動が再開できる時には SNS を活用し、参加メンバーの募集などを行い、これまで以上に活動の幅と規模をひろげていけるようにしたいと考えています。さらに、学内に限らず大学周辺の地域の方とも共に清掃活動を行い、地域交流を深めていきたいとも考えています。</p> <p>そのほかには、ほかの 530 運動をされている団体様との交流などを行い、地域の方と連携していくとともに、私たちの活動の改善点を見つけていきよりよい活動にしていきたいと考えています。</p> <p>そして、ゴミを拾ってきれいにするのは大切ですが、ゴミが捨てられない環境を作ることの方が大切だと考えます。ゴミを拾うことと並行しながらどのようにすればゴミを捨てられないかなどの対策を講じていきたいと考えています。</p>



1 : 豊橋 530 運動



2 : やしの実 FM「キラピカ☆530 タイムズ」



3 : 清掃活動